春がおすすめ

No.24　春を待つ　宇治の古道をめぐる

自然
歴史
古道

おすすめポイント

古代から中世へ、そして近世へと、多くの人たちが暮しや商い、信仰のために時には戦の道として踏み固められてきたのが、古道である。

江戸時代には、宿場、立場、高札場、馬借所などがおかれ、駅として機能した六地蔵　札の辻から、昔を偲んで奈良街道を南下する。

街道沿いの寺々や街角の石仏にまつわる民話や伝承に、改めて歴史の重みや面白さを感じるのである。

「かげろう石」の阿弥陀三尊を拝むと、程なく世界遺産宇治上神社の森や宇治川の流れが、疲れた体を癒してくれます。

JR六地蔵駅 ➡ 正行寺 ➡ 正覚院 ➡ 浄妙寺跡 ➡ 許波多神社 ➡ 願行寺 ➡ 西方寺 ➡ 萬福寺山門 ➡ 黄檗公園 ➡ 隼上り瓦窯跡 ➡ 安養寺 ➡ 蜻蛉の古跡 ➡ 宇治上神社 ➡ 公園 府立中の島 ➡ 平等院前 ➡ JR宇治駅

ここに注目

●札の辻

札の辻の丁子路に立つ石碑で「六地蔵宿立場高札場跡」とある。近世の奈良街道上に位置する宿駅であり、水運の港津としても賑わった。高札場の他、人足の詰所や伝馬所もあり、最盛期には馬数も１００頭近く常備されていたという。

●隼上り瓦窯跡

住宅地造成に伴い発掘された瓦窯跡。1986（昭和６１）年国の史跡指定を受ける。四基の瓦窯跡と、六棟の建物跡が見つかった。しかもここで作られた瓦は、50 キロ離れた飛鳥の豊浦寺に運ばれていたという。